



## 第 2 章

# 生涯学習の 推進に向けて



## 2-1 生涯学習推進の目標



### 学びの循環(わ)を広げる 「としま学びスタイル」の実現

前期計画で達成した、学びの成果を生かし学びと活動の循環をさらに広げていく取組みを推進していくために、「**学びの循環(わ)を広げる『としま学びスタイル』の実現**」を目標とします。

この目標は、行政だけではなく区民をはじめ、様々な主体と協働しながら進めていくものです。学ぶ場や機会、人や情報をつなぐこと、学びや活動の創造、これらすべてが学びを支える施策に関わってきます。

「としま学びスタイル」を実現するための3つの方針は、「つどう」「つながる」「つくりだす」です。これらはどれが上、どれが先というものではありません。

#### KEYWORD 1

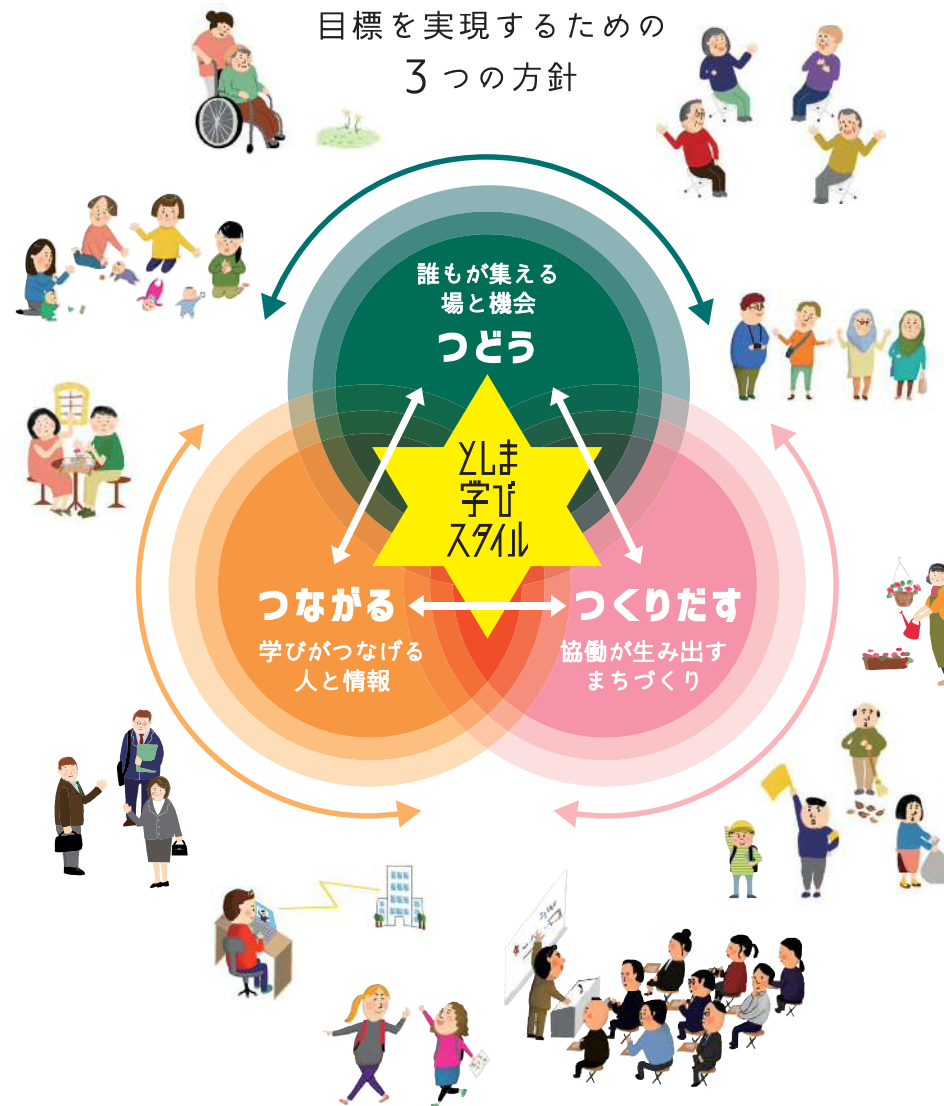
つどう つながる つくりだす

誰もが自分のスタイルで、自由で多様な学習ができるよう、生涯学習環境や活動拠点、学習機会を整備します。個人、仲間同士、グループや組織を含め、あらゆる人々が学びと活動に参加・参画し、地域に身近な「**つどう**」場と機会があることで、「学ぶ、発信する、活動する、ふりかえる、そしてまた学ぶ」という、学びと活動の好循環が行われていきます。

このように学びと活動は常に循環し、学んだ成果が地域社会に還元されるよう、生涯学習の推進に向けて区では各部署と連携を図るとともに、区内にある生涯学習を行っている関係機関、学校、企業、NPOなどと協働して、学びを継続・発展させていきます。そのために、学習情報の収集と発信・提供や生涯学習に関する相談、学習成果を表現し、発信する機能の強化に取組みます。学びを通して人と情報が「**つながる**」ことで学びあい広がっていきます。

学びの循環を広げるために、学習活動のネットワークや組織化・社会化を支援し、多様な活動間の連携・協働を推進し、持続可能な取組みへと発展させていきます。学びの成果を生かし、学んだことが次の学びのサポートをすることで地域人材の育成を促したり、地域資源を活用したまちづくりを進めることで、新しい文化や価値を「**つくりだす**」ことを目指していきます。

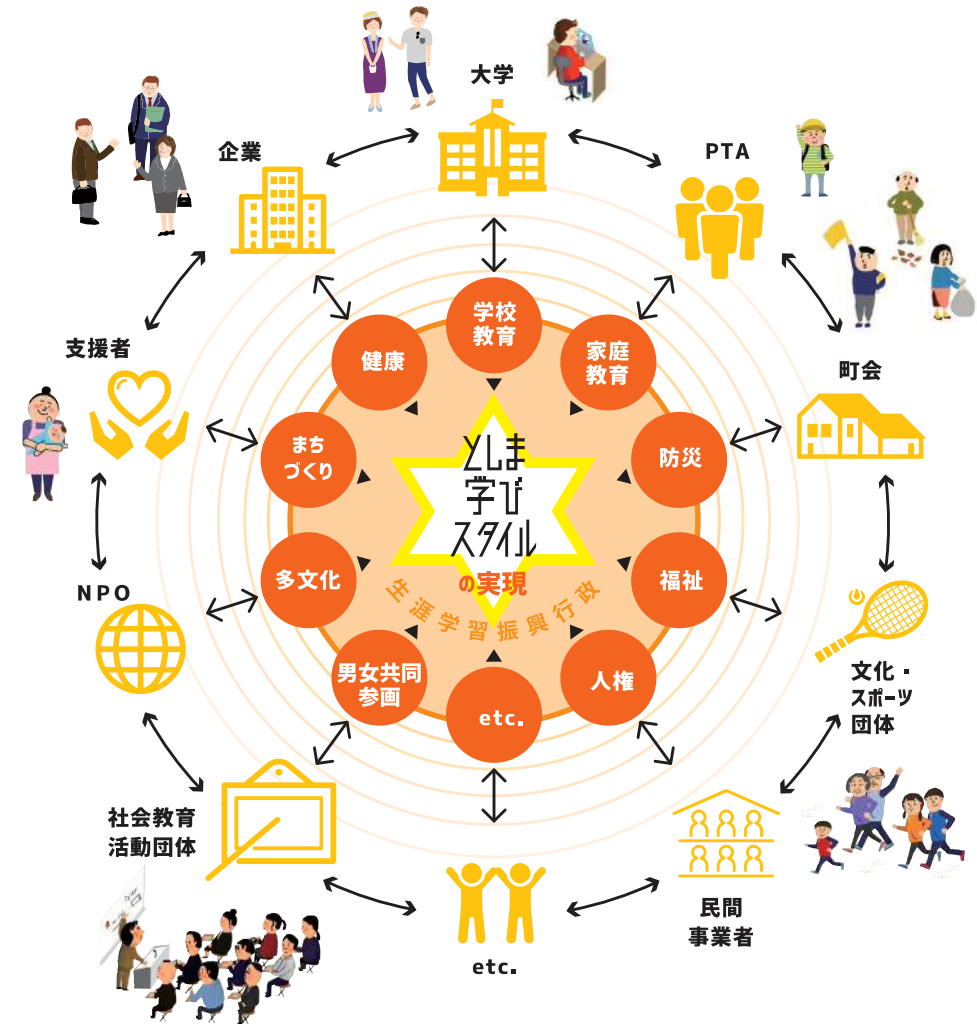
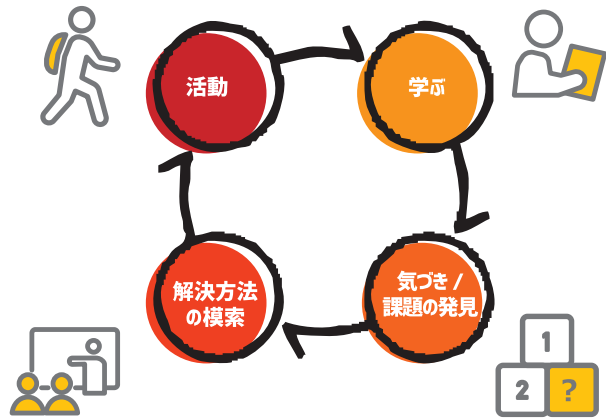
目標を実現するための  
3つの方針



**KEYWORD 2**  
**学びの循環(わ)を広げる**

改めて「**学びと活動の循環**」とはどのようなものでしょうか。学びにより、様々な気づきや課題の発見があります。課題を解決しようとして活動が展開されることがあります。しかし、簡単に解決する課題ばかりではありません。学ぶことにより解決策を考え、活動し、また学ぶ、という循環がより確かな解決への道筋を明らかにしていきます。

こうした循環は、一人ひとりの中だけではなく、地域での循環もあれば、世代を超えての循環もあり、また、区民や区民団体、行政、企業、NPO等の立場を超えて、さらに教育、福祉、環境、防災等の領域をも超えてつながりあい、学びと活動の循環を生みだす可能性があります。循環が他の循環と影響しあうことで、より大きな循環を生みだす可能性もあります。多様な学習資源が存在する都市型生涯学習の中で、それぞれのライフスタイルに応じて学んでいくことが「としま学びスタイル」なのです。



**生涯学習振興行政**とは、区民の生涯にわたる学習活動を援助・振興し、学習の成果を活用・促進していくために必要な条件を整備していくことです。学習活動にかかわる行政は、学習・スポーツ課に加え、多様な分野で実施されています。これらについては、それぞれの所管において適切に進められていく必要があり、行政機関間にも必要なネットワークを広げ、学んだ成果を発信していくことが求められています。

## 2-2 施策の体系図



### 施策の方向性

すべての区民が学びあい集える機会を拡充・整備する



**多様な  
学習機会  
の提供**

- 社会の変化や多様なニーズに対応した学習機会を提供していくために、庁内関係部局、NPO、民間教育事業者、大学、企業などと連携・協働していきます。文化施設をはじめとする生涯学習関連施設においても、多様な主体による学習機会を提供していきます。

- 年齢、国籍、障害の有無にかかわらず、区民のライフステージや学びの関心、参画の度合いに応じた学習機会の充実を図ります。



**活動拠点の  
機能強化**

- 生涯学習関連施設では、まちづくりの観点に立ち地域コミュニティの拠点として、地域課題の探求や学びの成果を地域に還元し共有できる取組みを進めます。



**地域の人材発見  
とその力を生かす  
機会の拡大**

- 学習の成果を発表できる機会をひろげ、活動の成果が地域に還元できる機会をつくります。
- 活動する人や団体同士の連携を深める機会を設けます。



**地域資源の  
発見と活用**

- 地域の歴史や文化、産業などの理解を深めて、地域ブランディングの向上を促進させていきます。

### 施策の方向性

つながりを生み出す学習情報・発信の仕組みをつくり、相談・コーディネート機能を充実する



**つながりを  
生む広報活動  
の充実**

- 人と人、人と活動、活動と活動がつながるためのコーディネート機能の充実を図ります。



**区民による  
学習相談体  
制の整備**

- 学びや活動の経験を生かして、区民による区民のための相談体制を整えます。



**多様な主体が  
つながる  
機会づくり**

- 学びの活動を共有化するための学びや交流の機会を提供します。
- 生涯学習振興行政として、分野を超えた情報交換や協議等を行う場をつくっていきます。



**活動施設の  
連携強化**

- 学習活動している人と人とのつながりをもとに、公民問わず施設をつなげていきます。



学びの循環(わ)を広げる  
「としま学びスタイル」の実現

目標を実現するための方針

3  
**つくりだす**  
協働が生み出す  
まちづくり



施策の方向性

まちづくりを支える学びあいのネットワークを構築する



**学習  
ネットワーク  
の充実**

- 学びの実践者同士が会える場として、様々な立場の人がつながる場をつくりだします。



**学びあいの成果  
を生かした協働の  
まちづくり**

- 学びあいから良いところを生かしあう「協働」の視点を持ちながら、ともに地域をつくっていく機会を提供します。



**新しい文化や  
価値の創出を担う  
地域の人材育成と  
仕組みづくり**

- 新しい文化を生む「国際アート・カルチャー都市」を実現するための様々な学びの機会をつくります。
- 人々が議論しあい、探究できる場を担保し、よりよいまちづくりに生かす仕組みを検討します。
- 学びを支える専門職のネットワーク化を図り、経験を共有して互いに能力を高めあうことができる場をつくります。